

# 施工説明書

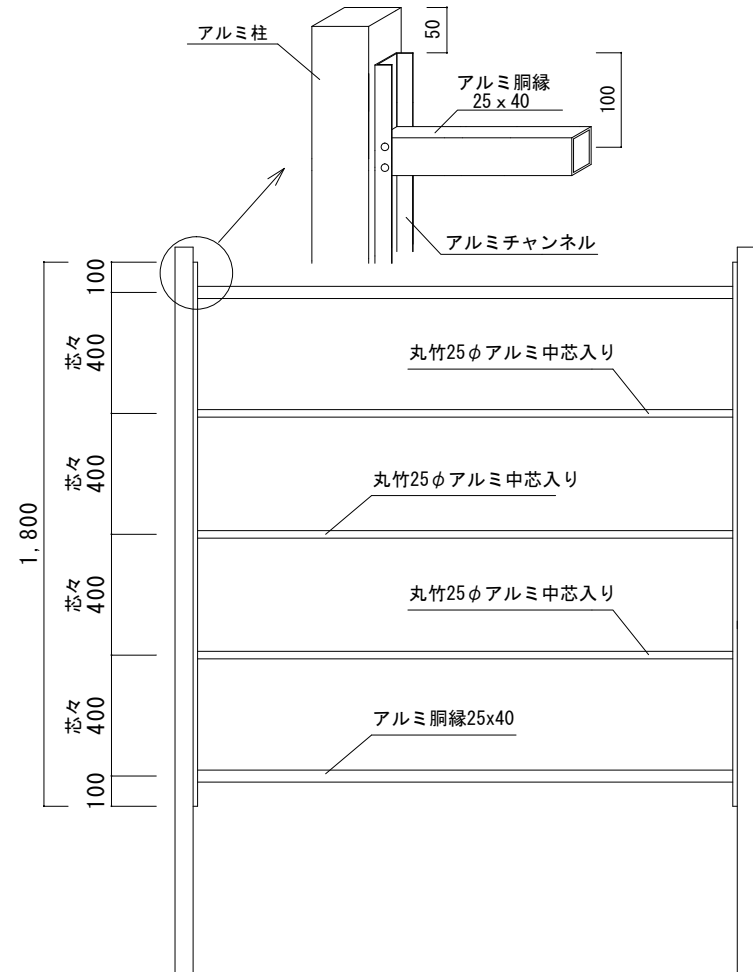
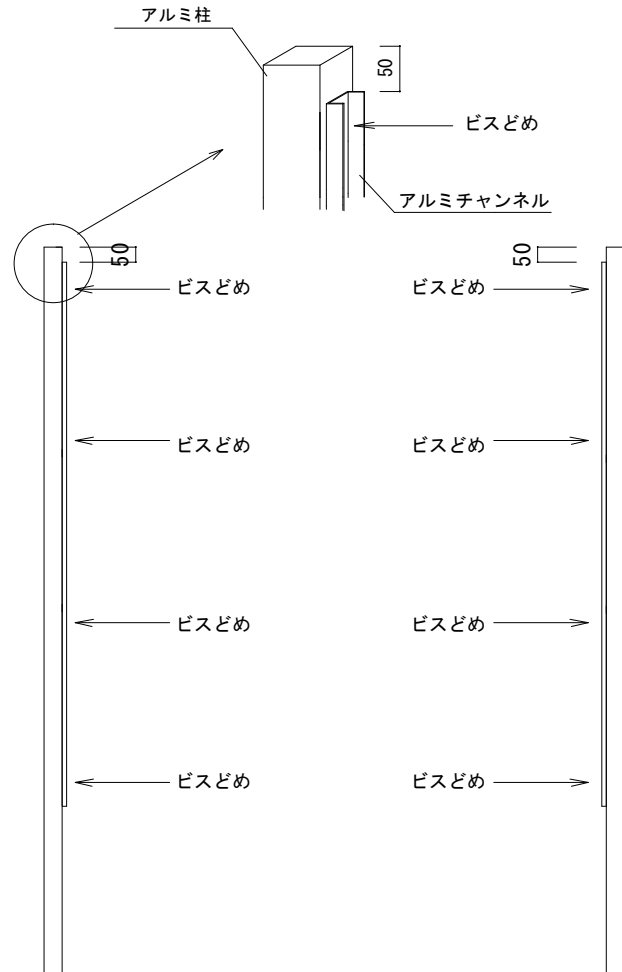
## 大津垣 H=1800の場合

(茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します)

株式会社エクスタイル

施工に関するお問合せは

TEL 0776-38-2533



### ① アルミ柱にチャンネルを取り付ける。

アルミ柱の上面から50mmさがった所にC型チャンネルを取り付けます。

H=1800の場合、チャンネル1本につきビスどめ4ヶ所です。

※4×16(ｲｲﾛ-)ビス使用

### ② チャンネルにアルミ胴縁25×40と丸竹25φを取り付ける。

チャンネルの上面から100mm下がった位置にアルミ胴縁25×40をビス止めします。

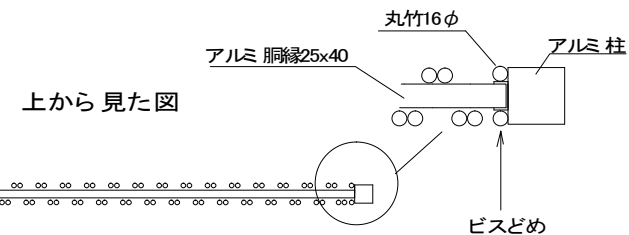
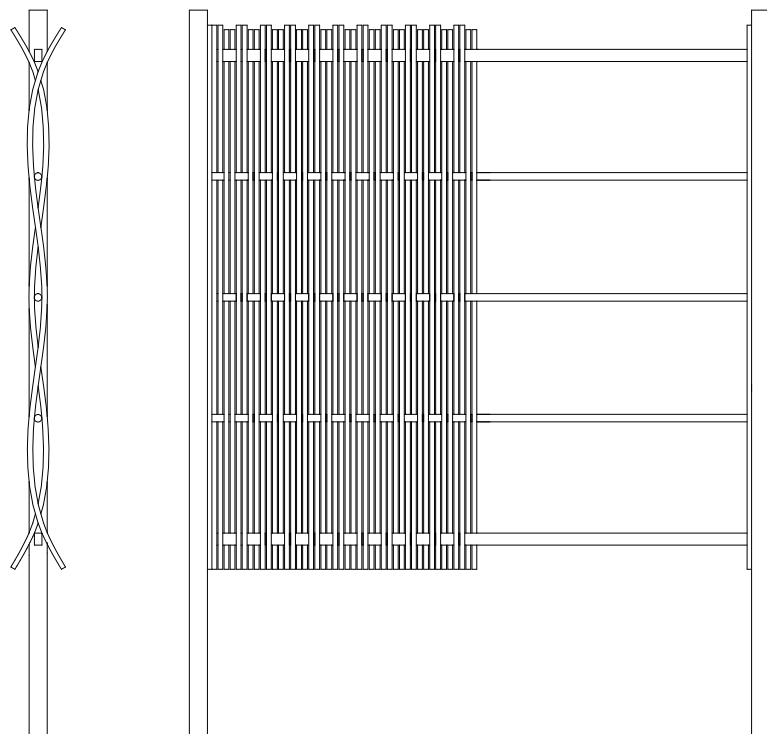
さらにチャンネルの下面から100mm上がった位置にアルミ胴縁25×40をビス止めします。

中3段はアルミ胴縁を使わず、丸竹25φの中にアルミ芯を入れたものを使います。

アルミ胴縁は表側と裏側から2本ずつビス止めします。丸竹25φは表側と裏側から1本ずつビス止めします。 ※4×16(ｲｲﾛ-)ビス使用

注：胴縁の数は、H=600・900は計3段、H=1200・1500は計4段、H=1800は計5段が標準です。

断面図



### ③丸竹16φを組み込む。

丸竹16φを編み込むように入れていきます。(断面図参照)

エクスタイルの場合、2本ずつ交互に組み込むのが標準です。

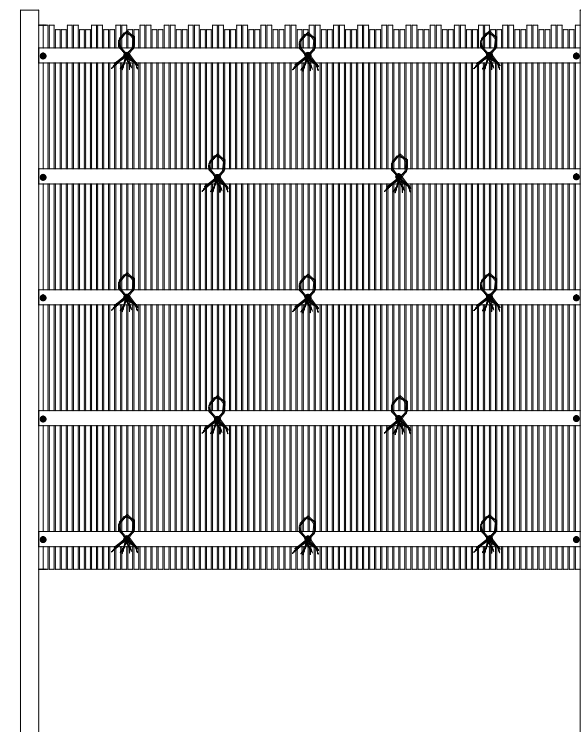
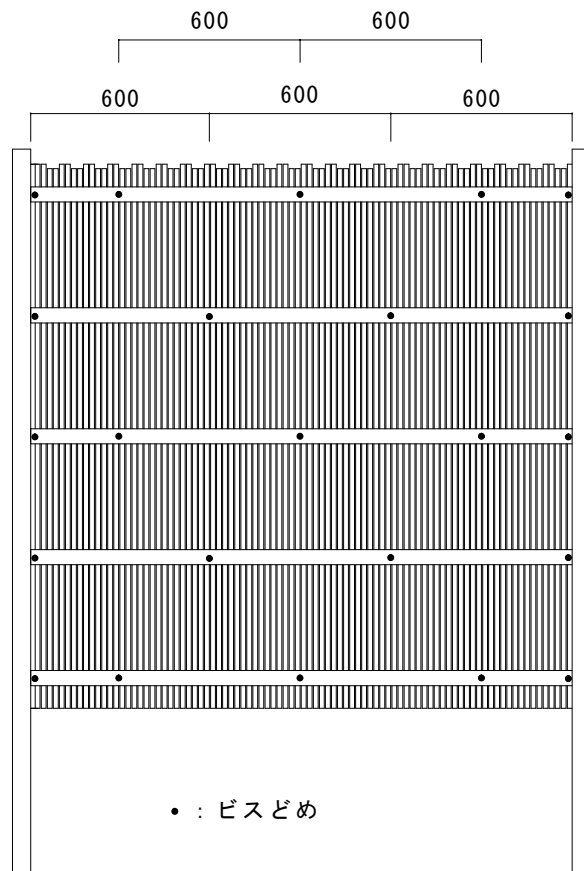
注：丸竹16φは曲げながら組み込んで下さい。

### ④チャンネルの上に丸竹16φをビスどめする。

両端のアルミチャンネルの上に丸竹16φを取り付けます。

チャンネルを隠すようにビスどめして下さい。

※4x 35(黄)ビス使用



#### ⑤ 割り竹50を取り付ける。

アルミ胴縁、丸竹25φ(アルミ中芯入り)の上から割り竹50をビスどめします。

ビスの位置は600mm間隔が標準です。

裏側も同様に割り竹50をビスどめして下さい。

※4×50(110-)ビス使用

注：割り竹50の両端は必ずビスどめして下さい。

#### ⑥ 人工棕櫚縄で縛る

割り竹50を固定したビスの上から化粧結びをします。

人工棕櫚縄の切り口は、バーナー等で少し熱を加えるとほづれ防止できます。

最後に丸竹キャップ、柱キャップをして完成です。

※棕櫚縄の結び方は、別紙参照